

令和 3 年度

埼玉県学力・学習状況調査の結果分析と考察

草加市教育委員会指導課

令和 3 年 1 2 月

「令和３年度 埼玉県学力・学習状況調査」の調査結果について

埼玉県学力・学習状況調査について

埼玉県教育委員会は、自治体としては全国初の調査である児童生徒一人ひとりの「学力の伸び」を把握する「埼玉県学力・学習状況調査」を平成２７年４月から実施しております。

１ 調査の概要

- | | | | |
|----------|------------------------|-----|--------|
| (1) 実施日 | 令和３年５月１２日（水）及び５月１３日（木） | | |
| (2) 対象学年 | 小学校第４学年から中学校第３学年 | | |
| (3) 調査対象 | 小学校４年生から中学校３年生までの全児童生徒 | | |
| | 小学校 | ２１校 | |
| | | ４年生 | １，８５２人 |
| | | ５年生 | １，９３０人 |
| | | ６年生 | １，９７５人 |
| | | 合 計 | ５，７５７人 |
| | 中学校 | １１校 | |
| | | １年生 | １，８９８人 |
| | | ２年生 | １，９１５人 |
| | | ３年生 | １，８５５人 |
| | | 合 計 | ５，６６８人 |

２ 調査内容

- | | |
|------------------------|----------|
| (1) 教科に関する調査 | |
| 小学校４年生から６年生まで | 国語、算数 |
| 中学校１年生 | 国語、数学 |
| 中学校２年生及び３年生 | 国語、数学、英語 |
| (2) 質問紙調査 | |
| 学習意欲、生活習慣及び規範意識等に関する事項 | |

調査結果

1 小学校国語

(1) 同集団における平均正答率の経年変化

小学校 国語							令和3年度 小学校4年生			前年度との 比較(伸び)			
							草加市	埼玉県	県との差				
							58.4	58.0	0.4				
							令和2年度 小学校4年生			令和3年度 小学校5年生	○		
							草加市	埼玉県	県との差				
							64.8	64.3	0.5	57.4		56.7	0.7
	平成31年度 小学校4年生						令和2年度 小学校5年生			令和3年度 小学校6年生			▼
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差				
56.5	56.1	0.4	62.4	62.1	0.3	58.7	58.6	0.1					

(2) 同集団による学力の変化

草加市 

埼玉県 

【グラフの見方】

 は、草加市の該当学年の学力のレベルの平均を表しています。

 は、埼玉県の該当学年の学力のレベルの平均を表しています。

レベルは12に分かれています。

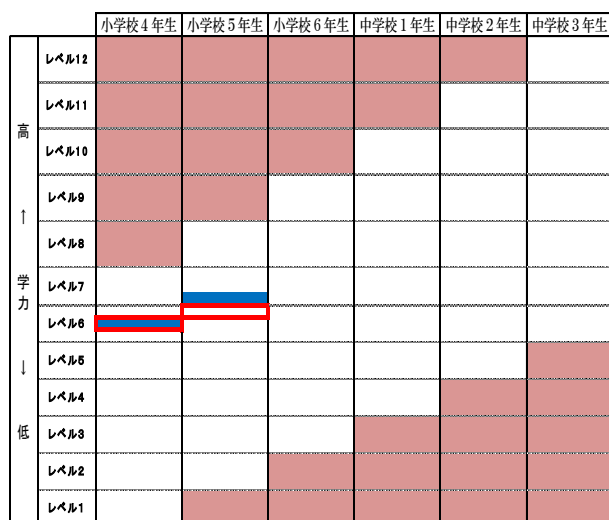
1つのレベルは3つに分かれているので、36段階です。

学力は、学年で伸びるものと考えられているため、学年が進むにつれて高くなっていきます。

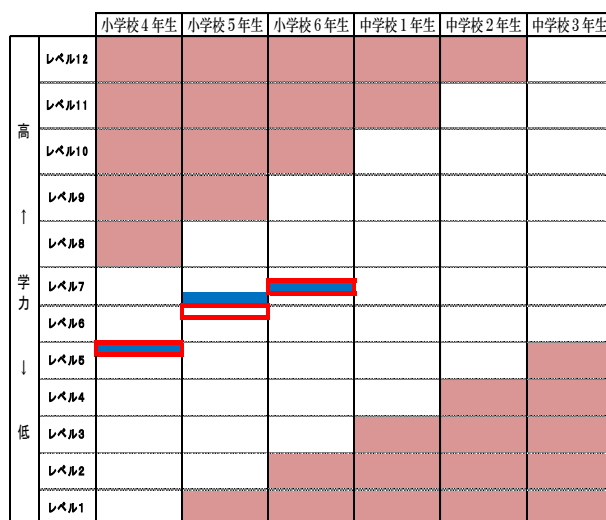
【見方の例】 県の学力レベルの平均と比較する。

前の学年からどれだけ伸びたのかを比較する。

小学校5年生（平成29年度入学）



小学校6年生（平成28年度入学）



2 中学校国語

(1) 同集団における平均正答率の経年変化

中学校国語	平成31年度 小学校5年生			令和2年度 小学校6年生			令和3年度 中学校1年生			前年度との比較(伸び)
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	
	54.4	52.3	2.1	60.6	58.8	1.8	62.8	61.3	1.5	
	平成31年度 小学校6年生			令和2年度 中学校1年生			令和3年度 中学校2年生			○
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	
	62.1	62.2	-0.1	61.3	61.1	0.2	63.4	63.1	0.3	
	平成31年度 中学校1年生			令和2年度 中学校2年生			令和3年度 中学校3年生			○
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	
	63.7	63.3	0.4	63.0	63.8	-0.8	67.4	68.1	-0.7	

(2) 同集団による学力の変化

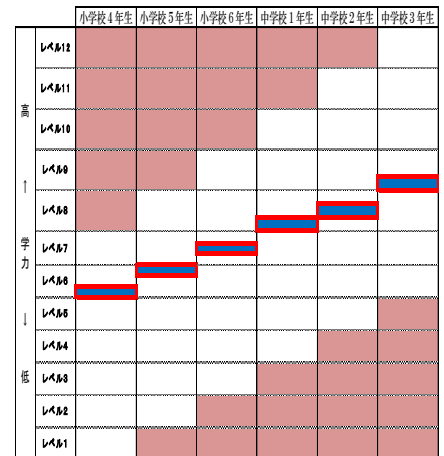
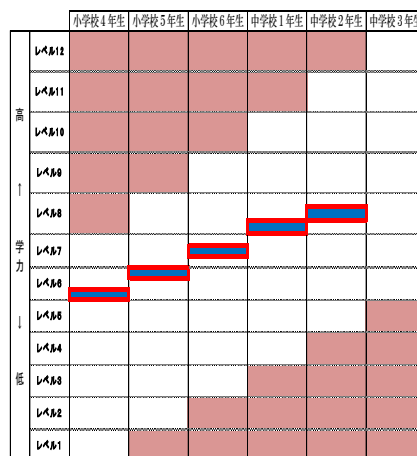
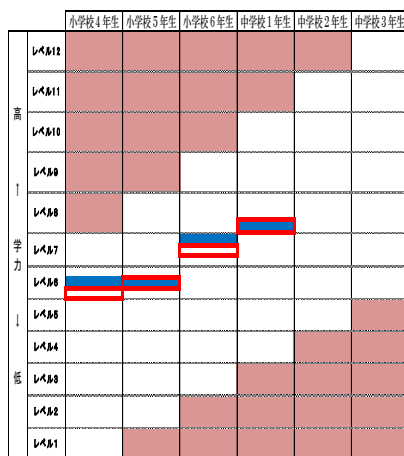
草加市 

埼玉県 

中学1年（平成27年度入学）

中学2年（平成26年度入学）

中学3年（平成25年度入学）



3 小学校算数

(1) 同集団における平均正答率の経年変化

小学校算数							令和3年度 小学校4年生			前年度との比較(伸び)
							草加市	埼玉県	県との差	
							68.9	69.9	-1.0	
							令和2年度 小学校4年生			▼
							草加市	埼玉県	県との差	
							64.3	64.2	0.1	
小学校算数	平成31年度 小学校4年生			令和2年度 小学校5年生			令和3年度 小学校5年生			▼
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	
	70.3	70.2	0.1	62.1	61.7	0.4	61.1	60.9	0.2	

(2) 同集団による学力の変化

草加市 

埼玉県 

小学校5年生（平成29年度入学）

		小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生
高	レベル12						
	レベル11						
	レベル10						
	レベル9						
	レベル8						
	レベル7						
	レベル6						
	レベル5						
	レベル4						
	レベル3						
低	レベル2						
	レベル1						

小学校6年生（平成28年度入学）

		小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生
高	レベル12						
	レベル11						
	レベル10						
	レベル9						
	レベル8						
	レベル7						
	レベル6						
	レベル5						
	レベル4						
	レベル3						
低	レベル2						
	レベル1						

4 中学校数学

(1) 同集団における平均正答率の経年変化

中学校数学	平成31年度 小学校5年生			令和2年度 小学校6年生			令和3年度 中学校1年生			前年度との比較(伸び)
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	
	69.5	68.2	1.3	61.4	59.0	2.4	59.7	59.4	0.3	▼
	平成31年度 小学校6年生			令和2年度 中学校1年生			令和3年度 中学校2年生			▼
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	
	60.7	61.5	-0.8	60.0	60.2	-0.2	57.6	59.1	-1.5	
	平成31年度 中学校1年生			令和2年度 中学校2年生			令和3年度 中学校3年生			○
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	
	58.8	59.8	-1.0	57.4	58.6	-1.2	57.5	58.1	-0.6	

(2) 同集団による学力の変化

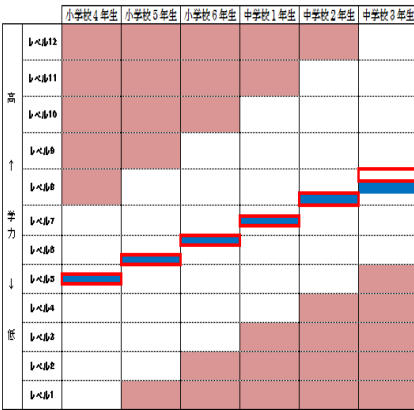
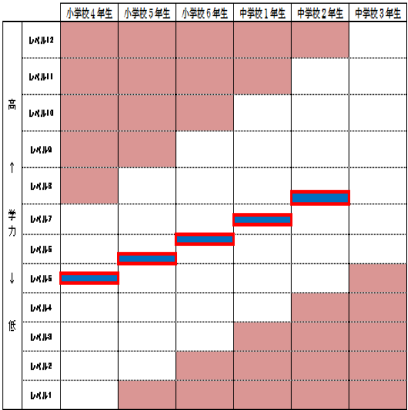
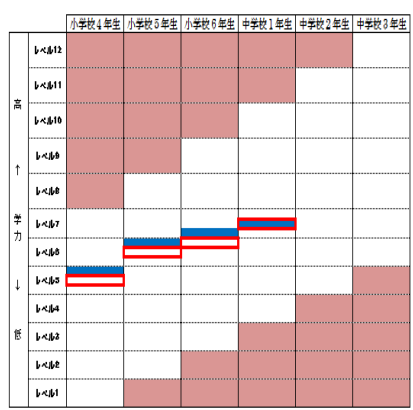
草加市

埼玉県

中学1年(平成27年度入学)

中学2年(平成26年度入学)

中学3年(平成25年度入学)



5 中学校英語

(1) 同集団における平均正答率の経年変化

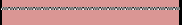
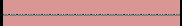
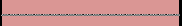
中 学 校 英 語				令和3年度 中学校2年生			前年度との 比較(伸び)
				草加市	埼玉県	県との差	
				63.6	62.6	1.0	
	令和2年度 中学校2年生			令和3年度 中学校3年生			○
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	
58.2	57.3	0.9	61.1	60.0	1.1		

(2) 同集団による学力の変化

草加市 

埼玉県 

中学3年（平成25年度入学）

		中学校2年生	中学校3年生
高 ↑ 学 力 ↓ 低	レベル12		
	レベル11		
	レベル10		
	レベル9		
	レベル8		
	レベル7		
	レベル6		
	レベル5		
	レベル4		
	レベル3		
	レベル2		
	レベル1		

成果と今後の指導の重点（小学校）

学年・教科			◎全体の傾向 ◇成果 ◆今後の指導の重点
小学校	国語	4学年	◎全体正答率において、草加市は県の全体正答率を上回っている。 ◎「記述式」において、県との差が最も大きく上回っている。 ◇文の構成を理解すること ◇物語に書かれている出来事を読み取ること。 ◇場面の様子から登場人物の心情を読み取ること。 ◆主語と述語を適切に対応させることの必要性を実感させること。
		5学年	◎正答率において、すべての項目で県の正答率を上回っている。 ◎「記述式」において、県との差が最も大きく上回っている。 ◇文の構成を理解すること。 ◇漢字辞典の使い方を理解すること。 ◆慣用句の意味を理解し、適切に使うこと。
		6学年	◎全体正答率において、草加市は県の全体正答率を上回っている。 ◎「記述式」において、県との差が大きく上回っている。 ◇修飾・被修飾の関係を理解すること。 ◇熟語の構成を理解すること。 ◇考えをまとめて書くこと。 ◆辞書の使い方を理解すること。
	算数	4学年	◎「記述式」において、県の平均正答率を上回っている。 ◇乗法に関して成り立つ性質を利用して計算すること。 ◇重さについての間隔を身に付けること。 ◇与えられた状況を数学的に解釈し、その理由を数学的な表現で記述できること。 ◆辺の長さに着目して三角形の特徴について考えることができる。
		5学年	◎「記述式」において、県の平均正答率を上回っている。 ◇四則混合の計算ができること。 ◇二つの数量の関係について理解すること。 ◇目的に応じたデータを収集できること。 ◆割り切れない除法を計算できること。
		6学年	◎「図形」及び「データの活用」において、県の平均正答率を上回っている。 ◎「選択式」「記述式」において、県の平均正答率を上回っている。 ◇除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解すること。 ◇合同な三角形かくための必要な条件を理解すること。 ◇直方体を組み合わせた形の立体の体積を公式を用いて求めること。 ◇平均を求めること。 ◆単位量当たりの大きさについて理解すること。

成果と今後の指導の重点（中学校）

学年・教科			◎全体の傾向 ◇成果 ◆今後の指導の重点
中 学 校	国 語	1 学 年	◎正答率において、全ての項目において県の正答率を上回っている。 ◎「記述式」において、県との差が大きく上回っている。 ◇目的に応じて必要な資料を見つけること。 ◇段落ごとの内容を捉え、段落相互の関係を正しく理解すること。 ◇目的に応じて文章の構成を考え、理由を挙げながら自分の考えを書くこと。 ◆文章中の事象の内容を理解し、具体例を読み取ること。
		2 学 年	◎全体正答率において、県の全体正答率を上回っている。 ◎「記述式」において、県との差が大きく上回っている。 ◇文脈に即して漢字を正しく書くこと。 ◇文節の関係を理解すること。 ◇資料を根拠にしなが、自分の考えを明確に書くこと。 ◆熟語の意味を理解し、適切に使うこと。
		3 学 年	◎「記述式」において、県との差が上回っている。 ◎学力の伸び幅は県平均と同等である。 ◎どの学力レベルの生徒も県と同じような伸びが見られる。 ◇文脈に即して漢字を正しく書くこと。 ◇登場人物の考えを読み取ること。 ◇資料の内容をもとに、自分の意見を書くこと。 ◆聞き手の立場に立って、わかりやすく話す工夫をすること。
	数 学	1 学 年	◎「数と計算」「図形」「変化と関係」において、県の平均正答率を上回っている。 ◎「評価の観点」の全てにおいて、県の平均正答率を上回っている。 ◎「選択式」「短答式」において、県の平均正答率を上回っている。 ◇逆数を求めること。 ◇数量の関係を文字を用いて式に表すこと。 ◆資料の中央値を求めること。
		2 学 年	◎「数学的な見方や考え方」において、県の平均正答率を上回っている。 ◎「記述式」において、県の平均正答率を上回っている。 ◇円の接線の基本的な作図の方法を、見通しをもって考えること。 ◇具体的な場面で、比例の関係をを用いて問題を解決できること。 ◆自然数を素因数分解すること。
		3 学 年	◎「数と式」「図形」において、県の全体正答率を上回っている。 ◎「評価の観点」の全てにおいて、県の全体正答率を上回っている。 ◎「選択式」「記述式」において、県の全体正答率を上回っている。 ◇多角形の外角について理解すること。 ◇一次関数における変数の変域を求めること。 ◇平行四辺形の性質から式を読み取ること。 ◆確率の求め方をふりかえり、確率から試行回数の求め方を考えること。 ◆四分位範囲を求めること。
	英 語	2 学 年	◎学力レベル・全体正答率共に、県の平均と同等レベルである。 ◎ほぼすべての項目において、県の平均を上回っている。 ◇会話文の内容に合う表現を選択すること。 ◇正しく文を組み立てること。 ◆与えられた情報に基づいて、人物の情報を正確に書くこと。

		3 学 年	◎学力レベルは、県との差が前年度よりも伸びが見られる。 ◎すべての項目で、県の平均より上回っている。 ◇基本的な語彙や文法・語法についての知識を身に付けること。 ◇自分の考えを理由とともに正確に書くこと。 ◆物語文等を読んで、重要な内容やことがらを理解すること。
--	--	-------------	--

令和3年度埼玉県学力・学習状況調査について【児童生徒質問紙調査の結果】

※ 表中の数字は、児童生徒質問紙調査で児童生徒が「できる」（「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合（達成率）（上段は草加市、下段は埼玉県の達成率）

※  は、80%以上

※  同集団において前年度と比較して達成率が上昇

 同集団において前年度と比較して達成率が低下

 変化なし

内容	項目		対象	小学校 5 年生		小学 6 年生		中学校 1 年生		中学校 2 年生		中学校 3 年生	
同一集団の変化				R 2 小 4	R 3 小 5	R 2 小 5	R 3 小 6	R 2 小 6	R 3 中 1	R 2 中 1	R 3 中 2	R 2 中 2	R 3 中 3
「知」 の基礎・基本	①先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができますか。	草加市	77.0	76.8	76.0	72.5	73.9	76.3	75.2	75.6	72.4	73.5	
		前年度比較		↘		↘		↗		↗		↗	
		埼玉県	77.3	76.0	74.8	72.7	72.4	76.1	75.5	73.8	75.0	76.7	
	②勉強することは楽しいですか。	草加市	70.2	62.7	63.4	52.4	54.4	50.1	49.4	35.8	36.7	32.2	
		前年度比較		↘		↘		↘		↘		↘	
		埼玉県	69.2	63.8	65.1	57.8	58.6	50.7	51.7	37.7	39.5	35.4	
	③本を読みますか。	草加市	88.8	88.7	89.0	87.2	89.2	83.6	81.7	78.7	75.8	73.1	
		前年度比較		↘		↘		↘		↘		↘	
		埼玉県	88.6	88.5	88.3	85.5	86.9	86.5	85.1	83.2	81.7	80.0	
	④学校の宿題をしていますか。	草加市	96.0	95.8	95.9	97.0	96.6	97.3	98.0	93.6	93.4	91.6	
		前年度比較		↘		↗		↗		↘		↘	
		埼玉県	95.5	96.2	95.5	96.1	96.4	96.7	96.8	93.0	93.2	92.5	
「徳」 の基礎・基本	⑤自分にはよいところがあると思いますか。	草加市	76.7	75.4	74.0	68.8	73.5	75.6	73.0	72.4	65.8	68.2	
		前年度比較		↘		↘		↗		↘		↗	
		埼玉県	77.2	77.9	74.5	69.8	75.7	76.5	74.6	72.5	68.6	69.6	
	⑥（小）相手の顔を見て、はっきりあいさつをすることができますか。 （中）だれに対しても進んで挨拶をすることができますか。	草加市	75.8	75.9	75.9	77.4	75.6	83.5	81.4	83.8	83.7	84.7	
		前年度比較		↗		↗		↗		↗		↗	
		埼玉県	77.0	78.2	76.7	78.0	76.8	82.9	82.2	82.6	84.4	84.2	
	⑦机やロッカーの中、身の回りの整理整頓をすることができますか。	草加市	76.8	77.8	77.2	74.0	76.4	74.4	75.1	73.8	79.6	79.4	
		前年度比較		↗		↘		↘		↘		↘	
		埼玉県	79.4	80.2	79.9	78.8	79.3	76.8	79.5	78.6	81.9	80.5	
	⑧授業や活動の始まる時刻を守ることができますか。	草加市	93.4	94.4	94.6	96.4	95.8	97.5	98.3	98.3	98.4	98.6	
		前年度比較		↗		↗		↗		↗		↗	
		埼玉県	92.3	93.2	93.7	94.8	95.1	96.9	97.5	97.6	98.3	98.9	
「体」 の基礎・基本	⑨テレビゲームをするについて、家の人と約束を決めていますか。	草加市	75.1	77.1	74.0	75.3	74.0	74.1	70.0	65.0	60.1	52.9	
		前年度比較		↗		↗		↗		↘		↘	
		埼玉県	73.6	76.8	74.4	75.5	73.4	72.3	70.7	64.8	62.9	56.6	
	⑩携帯電話やスマートフォンで、通話やメール、インターネットをすることについて家の人と約束を決めていますか。	草加市	51.0	55.8	54.5	56.8	57.7	66.2	62.7	61.5	55.4	52.9	
		前年度比較		↗		↗		↗		↘		↘	
		埼玉県	49.5	53.7	51.9	55.7	53.6	63.6	60.3	61.0	56.6	55.7	

質問紙からの分析（県学調）

知の基礎基本	○ 「先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができますか」においては、特に中学校で令和2年度と比較すると「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、高くなっている。 ○ 「学校の宿題をしていますか」においては、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、全ての学年において9割を超えている。
徳の基礎基本	○ 「自分にはよいところがあると思いますか」においては、中学校1年生、3年生で令和2年度と比較すると「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、高くなっている。 ○ 「(小) 相手の顔を見て、はっきりあいさつをすることができますか」「(中) だれに対しても進んで挨拶をすることができますか」においては、令和2年度と比較すると、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、小・中学校ともに高くなっている。
体の基礎基本	○ 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」において、小・中学校ともに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、9割を超えている。また、埼玉県の上回っている。 ○ 「携帯電話やスマートフォンで、通話やメール、インターネットをすることについて家の人と約束を決めていますか」において、中学校2年生、3年生で令和2年度と比較すると、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、低くなっている。

質問紙からの分析（全国・埼玉県 共通）

知の基礎基本	○ 友だちの発表を聞いたり、友だちと話し合ったりするなど、協働的な学びが重要であると推察できる。 ○ 特に中学校は、この協働的な学びが学力の伸びにつながっていると推察できる。 ○ コロナ禍においても飛沫感染ボード等を活用し感染症対策を講じながら、各学校が協働的な学びを大切にしてきた成果が調査結果から推察できる。
徳の基礎基本	○ 自分には良いところがあるなどの自己肯定感を育むことが重要であると推察できる。 ○ 誰に対しても進んで挨拶をしたり人が困っているときは進んで助けたりするなど、他人を思いやる心を育てていくことも重要であると推察できる。 ○ 道德教育の抜本的改善・充実に係る支援事業などの取組により道德的価値や実践力が高まってきた成果が調査結果から推察できる。
体の基礎基本	○ 規則正しい生活習慣は、学力の伸びにつながっていると推察できる。 ○ 家庭と連携した子どもたちの生活習慣を確立していくことが必要であると考ええる。 ○ 感染拡大に伴う休校時においても子どもたちの様子を確実に見とれる支援（電話連絡／家庭訪問／Web 会議システムの活用など）により、子どもたちが規則正しい生活習慣を送れていたと推察できる。 ○ 加速度的にGIGAスクール構想が進み、学校及び家庭においても情報機器があふれるなか、情報モラルについては、子どもたちに身に付けさせることが喫緊の課題であると考ええる。